

## デーケン先生と行く カナダホスピス視察研修

2011年9月10日～2011年9月18日

長崎県島原病院 緩和ケア認定看護師  
市川 めぐみ



## お話しする内容

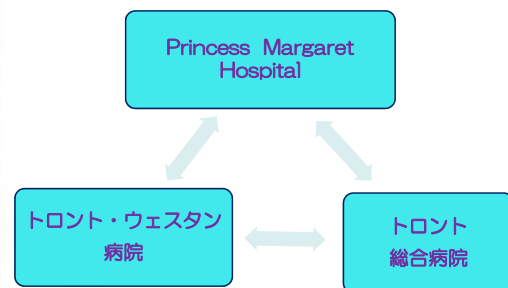
- がん専門病院や総合病院の役割と取り組みについて
- Princess Margaret Hospital
- Vancouver General Hospital



## Princess Margaret Hospital

- 「オリエンタルがん研究所」として1958年に設立され、世界的に知られるがん専門病院
- 特に放射線治療施設はカナダ最大であり17もの治療機器完備。年間のべ19万人の外来患者に対応し、220ベッドのうち緩和ケア専用として12ベッド設置し運営

## 緩和ケアにおけるネットワーク



## Princess Margaret Hospitalの 取り組み

- がん教育を重視した患者教育



患者・家族も、がんについて知識を深めることは大切です！！

## がん教育を重視した 取り組みの背景

- 医師の治療計画を受ける受動的な患者



- 患者中心にしたアプローチ  
(患者・医師のパートナーシップ)

能動的な患者を育てる

## 患者中心に考え理解を深め 患者自身が参画できる

### 教育方法

- 患者のニーズが満たされる
- 自助を目指す
- 自分でマネジメントする力をつける

## 患者教育の具体的な内容

- 病気の知識・理解度
- 治療のコンプライアンス
- 対処能力・副作用対策
- QOL向上 ⇒ 余命の向上
- 自己のケアができる

など

## 患者の医療への参画は 病院の質の向上へと繋がる

- 同意が得やすい
- 病院リソース利用が高まる
- ERの駆け込みを減らす
- ケアの質が向上する
- 転倒や内服管理も確実にできる

など

## 真の患者の意思決定に繋がる

- 患者の意思決定において、患者教育（知識）は必要であり、病気を理解した上で、治療や今後の方向性など、医療者と一緒に検討し決定していくこと

## 急性期病院における 緩和ケア病棟のあり方

- 目的：症状コントロール、家族ケア  
在宅調整 など
- 短期入院日数：平均10日
- 稼働率：101%
- 緩和ケア病棟看取り：入院患者の約50%

ギリギリまで在宅療養し  
最期は緩和ケア病棟で過ごすケースが多い

## —緩和ケア病棟—



緩和ケア病棟  
個室ベッド

どの部屋にも  
リフトがある

緩和ケア病棟のテラスで  
記念撮影！

## 急性期病院における 緩和ケア病棟・病床の必要性

### 急性期病院の苦惱

- 在院日数10日以内（来年度）
- 療養型病院の削減
- 在宅医療システムの遅れ など



がん難民増加！！

## Vancouver General Hospital

- カナダでは、オタワ病院に次ぐ規模の総合病院
- 950ベッド運用し、治療・研究とともにプリティッシュ・コロンビア大学との連携による医療機関
- 緩和ケアに特化した病棟を14床完備

## Vancouver General Hospital 緩和ケアの取り組み

- 告知・再発・転移と緩和ケアの割合が増加するに伴い、能動的に、緩和ケアの早期介入を提案している

### —緩和ケア病棟—

緩和ケア病棟  
のテラス



緩和ケア病棟  
個室ベッド



緩和ケアCNS  
と共に・・・



酸素や吸引ボトル  
目隠し箱

## 緩和ケアのゴール

- 命が限られている事を踏まえて  
生きている質を維持する
- 死の質も高める  
(亡くなり方の質を高める)



## 患者に対してのケアで必要なものは何か？ (患者への調査)

- 症状マネージメント
- 愛する人に愛護する
- 気になることを達成したい
- 能力のある思いやり（ケアプロフェッショナルにケアを求める）
- 自分に関わる医師・看護師が死ぬまで  
ずっと関わってくれる安心感
- 事実を伝えてほしい など

### 緩和ケアを受ける患者が 求めている事

- 患者の思いの中には、自分ではどうしようもないことを一緒に考え、「人間らしく亡くなった」と思えるような人生を終えたい
- 尊厳・人生の意味、これで終わりではないこと（死んでからの希望）を常に感じている

### 病院⇄在宅との連携強化 （在宅緩和ケア推進）

- 予測を立て、情報提供する  
フローチャートプラン作成
- 緩和ケア・アクセスコール  
（電子メールなど情報アクセス可能）

患者がその時期に何を望みか  
タイムリーに対応できるようなシステム

### 学んだこと

- がん教育を重視した患者教育
- 急性期病院における  
緩和ケア病棟・病床の必要性
- 在宅緩和ケア推進するには  
病院⇄在宅との連携強化  
（患者がその時期に何を望みか  
タイムリーに対応できるようなシステム）

### ご清聴ありがとうございました



たいへん有意義な  
カナダホスピス視察研修でした